

山梨県

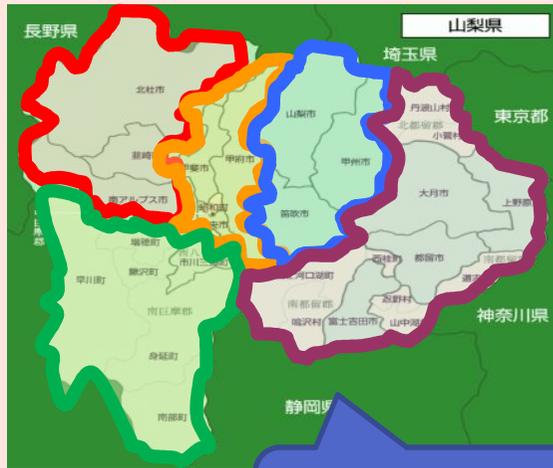
みんな地域移行するまで続けます！
～やる気スイッチをオンにしっぱなし作戦～

山梨県では・・・

平成24年度に県自立支援協議会に地域移行部会を設置、平成25年度に「地域移行を誰もが当たり前に語れる社会の実現」を目指し、「官民協働による地域づくりプロジェクト会議」を立ち上げた。以降、毎年会議や研修を重ねながら、県内地域移行関係者のやる気度を高めるための取組と、個別事例の実践を積み重ねてきているところである。

1 県の基礎情報

山梨県



5つのエリアで
取り組み

取組内容

【人材育成の取り組み】

・平成24年度に実施した指定一般事業所説明会をきっかけに、支援の三角点設置研究会の協力を得て、平成25年度から障害者自立支援協議会と共催し、人材育成研修を実施している。

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- ・平成24年度に県自立支援協議会に地域移行部会を設置し、平成25年度に官民協働による地域づくりプロジェクト会議を立ち上げ、圏域ごとに取組を進めている。
- ・平成24年度から地域移行ピアサポーターの各圏域に配置し、取組を進めている。

基本情報

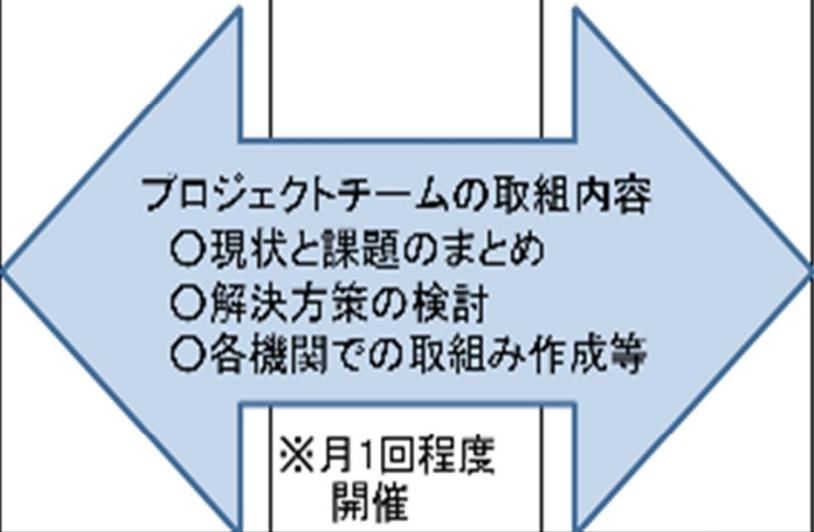
圏域数	5カ所
人口	83.5万人
精神科病院の数	11病院
精神科病床数	2348床
入院精神障害者数退院率	3か月未満：401人（21%）
	3か月以上1年未満：274人（14%）
	1年以上：1249人（65%）
退院率	入院後3か月時点：58.4%
	入院後1年時点：88.2%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：84
	特定相談事業所数：24
障害福祉サービスの利用状況（H28.2.16）	地域移行支援サービス：12人
	地域定着支援サービス：22人
保健所	5カ所
（自立支援）協議会	（人材育成について議論）：プロジェクト会議 （活動頻度）：2回/年
	（精神障害者の地域移行について議論）： 地域移行専門部会 （活動頻度）：8回/年
精神保健福祉審議会	年1回

※H27年6月時点

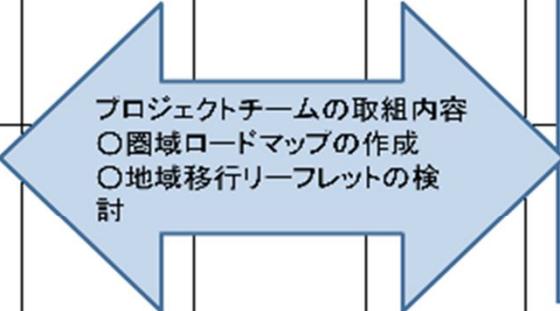
2 都道府県としての精神障害者の地域移行推進のための人材育成の取り組みの経緯

- 平成18年度から自立支援員（後の地域移行推進員）を養成し、各圏域の委託事業所に配置してきた。平成24年度の個別給付化を契機に、ピアサポーターの養成研修を始め、平成25年度からは「障害者地域相談のための実践研修（以下「実践研修」）」を実施している。（詳細は「取り組みのスケジュール」のスライドのとおり）
- 平成27年度は、実践研修にピアサポーターも参加し、圏域ごとに病院、相談支援事業所、保健所、市町村、ピアのグループで、取り組みについて考えている。

取組みのスケジュール：H25年度

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月以降	
地域移行・地域定着支援体制整備への取組み	県自立支援協議会 地域移行部会との調整	地域体制整備連絡会議 での趣旨説明	 <p>プロジェクトチームの取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現状と課題のまとめ ○解決方策の検討 ○各機関での取組み作成等 					各機関が、研修会での学びや作成した今後の取組みに基づき実施
		プロジェクトチーム設置 第1回会議					※月1回程度 開催	
研修会に関すること	官民協働による 地域移行推進研修			実践研修内容の作成	県内ファシリテーター研修	障害者地域相談の ための実践研修 28・29日		

取組みのスケジュール:H26年度

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施主体 (●主機関 ○協力機関)
地域移行体制整備			県地域体制整備連絡会議①	プロジェクトチーム会議① 地域づくり				プロジェクトチーム会議② 地域づくり	県地域体制整備連絡会議②	<ul style="list-style-type: none"> ●県障害福祉課 (心の健康担当) ○精神保健福祉センター ○保健所 ○圏域マネージャー ○県地域移行部会
県自立支援協議会 地域移行部会	県地域移行部会① 28日	県地域移行部会② 12日	県地域移行部会③ 8日 プロジェクトチームメンバーの調整	プロジェクトチーム会議① 10日	 <p>プロジェクトチームの取組内容 ○圏域ロードマップの作成 ○地域移行リーフレットの検討</p>			プロジェクトチーム会議②		<ul style="list-style-type: none"> ●県障害福祉課 (地域生活支援担当) ○地域移行部会員
人材育成研修	官民協働による地域移行推進研修(中央研修)		フォローアップ研修内容の作成	研修の周知		障害者地域相談のための実践研修(フォローアップ研修) 2日				<ul style="list-style-type: none"> ●県障害福祉課 (心の健康担当) ○県地域移行部会

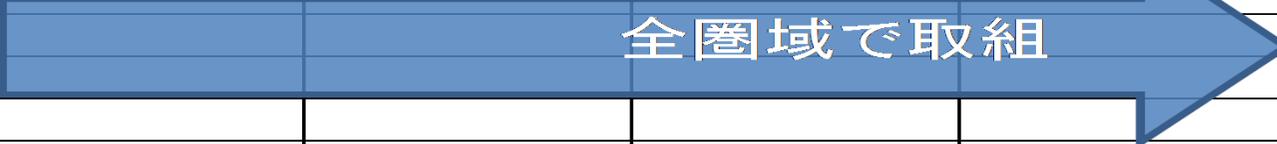
3 都道府県としての精神障害者の地域移行の取り組みの経緯

- 平成17年度の退院促進モデル事業から取り組み、各圏域の委託事業所（相談支援事業所等）を中心に、保健所がバックアップする形で取り組んできた。
- 平成20年度からは地域体制整備コーディネーターを保健所が担っている。
- 平成24年度の個別給付化を契機に、県全体の地域体制整備連絡会議を開催するようになり、平成25年度からは圏域ごとの地域体制整備連絡会議も開催している。
- 平成20年度に県障害者自立支援協議会が入院患者の意向調査を実施し、平成26年度は、県が長期入院精神障害者の実態調査を実施した。
- 平成24年度に「県障害者自立支援協議会」に「地域移行部会」を設置し、平成25年度からは「地域移行を誰もが当たり前に語れる社会の実現」を目指して、「官民協働による地域づくりプロジェクト会議（総勢58名）」を開催し、平成26年度には「山梨県版地域移行リーフレット」を作成した。
（詳細は「山梨県の実地移行の取り組み」等のスライドのとおり）

山梨県の地域移行の取り組み

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
事業		モデル事業	退院促進支援事業	地域移行支援特別対策事業				
実施状況	事業実施圏域状況	甲府						
		峡西・峡北						
		峡東						
		峡南						
		富士・東部						
	地域移行推進員数 (ピアサポーター数)	9(2)	30(5)	38(8)	39(8)	40(7)	41(9)	33(7)
	退院者数 (延べ対象者数)	1(8)	11(23)	8(24)	11(30)	11(34)	10(35)	13(33)
工夫した取り組み	・事業周知の紙芝居作成	・自立支援員養成研修	・全圏域において事業開始	・地域体制整備 コーディネーターの配置 ・委託事業所連絡会 ・入院患者意向調査	・市町村公営住宅調査 ・不動産会社等との意見交換会 ・委託事業所連絡会	・社会資源マップ作成 ・委託事業所連絡会	・事業まとめアンケート ・委託事業所連絡会	

山梨県の地域移行の取り組み

個別給付化 		H24	H25	H26	H27
事業		地域移行支援事業			
事業 実施 圏域 状況	甲府				
	峡西・峡北				
	峡東				
	峡南				
	富士・東部				
地域移行推進員数 (ピアサポーター数)		- (25)	- (25)	- (25)	- (31)
退院者数 (延べ対象者数)		-	-	-	-
実施 状況	個別 給付化				
	工夫した取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・県地域体制整備連絡会 ・ピアサポーター養成研修 ・委託事業所連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び圏域地域体制整備連絡会 ・官民協働による地域づくりPT会議 ・ピアサポーターフォローアップ研修 ・委託事業所連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び圏域地域体制整備連絡会 ・官民協働による地域づくりPT会議 ・ピアサポーターフォローアップ研修 ・委託事業所連絡会 ・長期入院精神障害者実態調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び圏域地域移行・地域定着推進協議会 ・官民協働による地域づくりPT会議 ・ピアサポーター養成研修、フォローアップ研修 ・委託事業所連絡会

山梨県版地域移行リーフレット(表面)

あなたの退院を応援します

入院中のあなたへ

退院をあきらめていませんか？

退院に向けたお手伝いをするピアサポーターや相談支援専門員の制度があります！

家族の方へ

医療機関、地域の関係者が連携してご本人・ご家族を応援します。長期入院されていた多くの方が退院しています。

ちいせいかつ 地域生活にはこんな楽しいことがあります



好きなところへ出
かけたい…
テレビや食事を楽
しんだい…



お仕事をしたり…
買い物をしたり…



大変なこともあるかも
しれないけど、退院後
も応援してくれる人が
いるから、
一緒にがんばろう！

やまなしけん やまなしけんしょうがいしゃじりつしえんきょうざいかいちいせいかつぶかい
山梨県・山梨県障害者自立支援協議会地域移行部会

ちいせいかつしえんじぎょう 地域移行支援事業 問い合わせ先

〈各保健所〉

圏域	名称	住所	電話
中北圏域(甲府圏域)	中北保健福祉事務所 (中北保健所)	甲府市太田町 9-1	065-237-1420
(峡西・峡北圏域)	中北保健福祉事務所峡北支所 (中北保健所峡北支所)	韮崎市本町 4-2-4	0551-23-3074
峡東圏域	峡東保健福祉事務所 (峡東保健所)	山梨市下井尻 126-1	0553-20-2752
峡南圏域	峡南保健福祉事務所 (峡南保健所)	南巨摩郡富士川町織沢 771-2	0556-22-8158
富士・東部圏域	富士・東部保健福祉事務所 (富士・東部保健所)	富士吉田市上吉田 1-2-5	0555-24-9035

〈各委託事業所〉

圏域	名称	住所	電話
中北圏域(甲府圏域)	すみよし生活支援センター	甲府市住吉 4-7-27	055-221-0071
(峡西・峡北圏域)	きづな	南アルプス市飯野 2804-1	055-282-4004
峡東圏域	甲州市社会福祉協議会	甲州市塩山上於曾 933-6	0553-32-0285
峡南圏域	峡南圏域相談支援センター	市川三郷町岩間 438	0556-32-1414
富士・東部圏域	むつみの家	都留市下谷 2516-1	0554-45-6887

ちいせいどうどん ちいせいかつ ちいせいていちゃく 地域相談(地域移行・地域定着) 問い合わせ先

〈各市町村障害福祉担当窓口または相談支援事業所〉

あなたの相談先

※この欄は、病院 PSW などがパンフレットを手渡す時にその方に必要な連絡先やメッセージを記載するなど工夫してお使いください

～このパンフレットは、山梨県障害者自立支援協議会地域移行部会が
官民協働による地域づくりプロジェクト会議メンバー、ピアサポーターの皆様
の御協力により作成しました～

山梨県版地域移行リーフレット(裏面)

せいしんしょうがいしゃちいきいこうしえんじぎょう ごあんない 精神障害者地域移行支援事業のご案内

入院の必要がない程度に回復している方で、さまざまな理由から長期にわたって入院を続けている方に対して、住みたいところ(地域)で暮らせるよう、応援する取り組みです。

退院することに心配や不安を感じているご本人やご家族に対して、ピアサポーター(入院の経験者)が体験をお話したり、情報をお伝えしたりして、心配や不安を減らすことお手伝いします。

例えば・・・



- ☆ 家族に迷惑はかけられない
- ☆ 通院やお薬は大丈夫かな？
- ☆ どこに退院すればいいの？？
- ☆ 買い物はどこに行くの？
- ☆ お金の管理に自信がないよ・・・
- ☆ 入院生活から離れるのは不安だな・・・
- ☆ 今さら退院しても・・・

一人で悩まないで！あきらめないで！

ピアサポーターがいます！

ピアサポーターとは

退院して地域で生活している精神障害者で、これから地域での生活をめざす方に、入院という「同じ体験をした仲間」として、薬のことや、住まいのこと、日中の過ごし方などの話しを聞いてくれる人です。



ちいきどうだん ちいきいこう ちいきていちゃく ごあんない 地域相談(地域移行・地域定着)のご案内

精神科病院などに長期入院(概ね1年以上)している方が、病院から地域へ移行するための準備支援をし、安心して「退院」できるようにお手伝いします。

精神科病院などから退院した後も、緊急時につけつけるなど、チームで生活支援をし、地域で安心して生活が続けられるようお手伝いします。

地域移行

例えば・・・

地域定着

- ☆ アパートを一緒に探します
- ☆ 仕事や体験できる通所先を探します
- ☆ お金の管理について専門家に相談します
- ☆ グループホームの宿泊体験を支援します
- ☆ 電車やバスなどの交通機関の利用体験を一緒にします

- ☆ 退院後に月1回以上訪問できます
- ☆ 困った時はかけつけます
- ☆ 緊急時のチームを作り、支援します
- ☆ 小さなことでも相談できます

ちいきどうだん 地域相談をつかってみませんか？

地域相談とは

入院中から退院に向けた支援が受けられ、地域の相談支援事業所や行政機関などが生活を応援する制度で、入院前に住んでいた市町村の福祉課等が申請窓口です。まずは病院の精神保健福祉士(退院後生活環境相談員)などにご相談ください。

地域には支えてくれる方がいます！



3-1 甲府圏域の取組①

- 平成19年度より退院促進支援事業を民間の事業所に委託
甲府圏域：精神科単科の病院が3病院。現在地域移行 5件 地域定着 10件
- 平成25年より3病院へ事業の周知と事業の活用の協力依頼を毎年実施
(保健所、事業所等)
- 平成26、27年度は、PSW向けの地域移行研修を3病院で実施
内容：地域移行支援事業の概要、事業を活用して退院した方の事例の紹介
- ピアサポーターの積極的な活用
平成24年度にはピアサポーターの養成研修を県が実施
わが圏域では9名のピアサポーターが誕生。平成26年度には地域移行を進めるためのDVD作成のワーキングを立ち上げ、ピアサポーターの方を中心に30分程度のDVDを作成。今年度はDVDを活用し、ピアサポーターの連絡会を各病院持ち回りで開催。連絡会＋グループ支援という形で長期入院者の方たち向けにDVDを上映。
- 保健所では、地域移行定着の推進協議会を開催。圏域の関係機関に参加していただき、全県で行う研修会等と連動する形で、地域移行を進めるためのロードマップの作成、確認など実施。
- 今後は、困難ケースへの地域移行の導入や新たな長期入院を出さない取り組み、施設からの地域移行などにも取り組んでいく予定

4 都道府県としての来年度への抱負

地域移行推進のための人材育成について

- ・退院後生活環境相談員はじめ、精神科病院関係者をより多く巻き込める人材育成研修の開催する。
- ・いまだ「当たり前前に地域移行を語るができない」機関に対する攻略方法を練って開催する。
- ・山梨県のコンパクトさを生かし、顔の見える関係づくりと真の連携体制構築を目的に人材を育成する。

市町村支援について

- ・保健所を中心に、①圏域・市町村の実情に合わせた体制整備、②個別事例を積み上げながらの具体的な支援、を行っていく。

地域移行の推進について

- ・地域体制整備、人材育成の継続、個別事例の積み上げ、精神科病院の構造改革への支援

5 次年度の戦略

長期目標

障害福祉計画の数値目標を念頭に、新たな長期入院者を生まないこと、現時点の長期入院者を削減すること、を目指しての地域移行を進めていく。

短期（次年度）目標

圏域のストレングスを生かした仕組みをつくろう

目標達成のためのスケジュール(いつ、だれが、何を、どのように実施するか)

時期	だれが	何をどのように
H28 ~29	障害福祉課、精神保健福祉センター、保健所、自立支援協議会地域移行部会	・地域移行関係職員の人材育成研修(全県版と圏域版)の開催。 各圏域、各市町村、各精神科病院の実情の合わせた内容を検討する→ <u>全体の底上げ</u> の必要性+ <u>個々の実情</u> を加味した内容で。 ・ 地域移行ハンドブックの作成・活用